

News Letter つなぐ

～人を育てる風土を作り、元気で強い会社にな！～

桃の節句も過ぎ、寒さもようやくゆるんでまいりました。
3月は巣立ち、別れの淋しさと、新しい出会いの期待とで複雑な
思いが入り混じります。

さて、最近、人材育成川柳の発信を Facebook で始めました。
部下育成やコミュニケーションのコツを分かりやすく、思い出し
ていただきやすく、お伝えできたらと考えております。
まずは、1～10まで、このニュースレターにも掲載させていただきます。
ご覧いただけましたら幸いです。



【その1】

頼んだよ 目を見て芽生える 責任感

何か指示をする、依頼するときは、部下の目をしっかり
見ることで、相手により責任感が芽生えるの意。

【その2】

どう言おう 関係築け その前に

どんなに正しいことを言ったとしても、それを受け入れ
るかどうかを決めるのは部下次第。部下が耳を塞いでい
たら、上司のせつかくの言葉は響かない。

「どう言ったら？なんと言ったら分かってくれるんだ
ろう？」と考えるのも大切かもしれないが、この人の言
うことなら聞けるという関係（信頼関係）をまず築いて
おこう。の意

【その3】

ちょっと待て この関わりは 何のため？

部下のためを思って指導しているうちに、気持ちが高ぶ
って、ついつい相手を傷つける言葉、やる気、勇気を挫
くような言葉を使ってしまう。

部下と関わる時は、この場は何の意図をもって関わるの
かを意識したい。の意

【その4】

挨拶す 名前を呼んで 様子見る

相手の存在を認めることは、「上司に気にかけてもらっ
ている」「いてもいいんだ、この職場に」と、安心感や
組織の一員なんだと感じられることにつながります。
名前を呼んで挨拶することで、その日の部下の様子が分
かります。元気が無い日が続いたら、「どうしたの？」
と気かけ、声をかけることができますね。

【その5】

足らずより 出来たことこそ 目を向けて

人は出来てない事、足らない事に目がいきがちだけれど、
部下の出来ている事、良い所、貢献している所にも目を
向けよう。の意

【その6】

指示出しは 返球受けて 確認し

重要な指示、注意事項、申し送り事項など、特に重要
なこと、間違えやすいことなどは、言いつ放し（球を投
げっぱなし）ではなく、伝えた後に部下に復唱して（返
球して）もらい、確認しよう。の意。

確実に伝わったかどうか確認できるだけでなく、部下自
らが口に出すことで、アンテナがより立ちやすくなる。

【その7】

合わぬ部下 対応見てる 他の部下

上司だって人間だから、部下とも合う合わない、好き苦手はある。

合わない部下、苦手な部下への対応次第で、部下本人との関係が悪くなるほか、他の部下からの信頼も損ねてしまったり、職場の雰囲気や損ねる可能性がある。

感情はあるかもしれないが、部下と何を生み出す必要があるのかを考えて、行動しよう。の意。

【その8】

人育て 粘りと根気 花開く

人育て、部下育成は、粘りと根気が必要。

草木に水をやるように、部下とも効果的な関わりを根気よく続けよう。いつかそれが花ひらくと信じて。の意

【その9】

何回も 言ったはずでも 言葉変え

前に伝えたはず、何度も言ったはずだったとしても、もし部下に伝わってなかったとしたら、もう一度そこから始めるしか前には進まない。

相手が受け取りやすいよう、理解しやすいように言葉を変えて伝えることも必要かもしれない。

言っただろう、説明しただろう、それは本当かもしれないが、自分を正当化したとしても、残念ながら何も生まれない。伝えたことより、伝わったことが全ての意。

【その10】

まずは聴く その積み重ね 信頼に

部下の話を聴くと、「もっとこうした方が良い」とアドバイスをしたくなり、部下の話をついつい遮ってしまう。まず部下の話を 3 分で良いので受け止めて聴く。すると、自分の話を大切に聴いてもらえたという経験が部下に生まれる。それが積み重なり、この上司になら安心して話せる、この上司の言うことならきけるといふ、上司に対する信頼が生まれる。の意。地道かもしれないが、信頼関係を築く近道。アドバイスをするなら、その後で。

～TOPIC～



2019年2月14日(木) メンターマネジメント協会主催「レジリエンス社員育成セミナー」に講師として登壇いたしました。

困難や逆境を乗り越えて、しなやかに前に進めるように失敗を未来につなげられるように、

- ・起きていることを様々な角度から捉えなおしをする 「パラダイムシフト」
- ・人間関係を構築するための「傾聴」
- ・相手に受け取りやすいコミュニケーションのための「タイプ別」
- ・自立して前に進むための自分自身への問いかけ、ブレーキ

などなど、ワークを通してレジリエンスアップの考え方、スキルをお伝えしました！

ベアリンクニュースレター「つなぐ Vol.12」をお読みくださり、ありがとうございました！

発行：ベアリンク 土元紀子

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目11番4号 大阪駅前第4ビル9階 923-1001号

TEL：06-4400-5189 FAX：06-6345-7931 Mail：info@bearlink.jp URL：

<https://bearlink.jp>

